

葛飾区

緑化推進協力員だより

第46号



2022年11月 葛飾区緑化推進協力員会
協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

【表 紙】

2022年4月～10月の間に、葛飾区緑化推進協力員による園芸教室が計4回開催されました。どの教室も盛況で、受講者から好評でした。

(左上) 園芸教室「底面給水によるペチュニアの寄せ植え」

(右上) 園芸教室「自然に優しい土づくり」

(左下) 園芸教室「エアープランツを楽しもう」

(右下) 園芸教室「苔玉づくり」

葛飾区緑化推進協力員は、葛飾区緑の保護と育成に関する条例に基づき葛飾区長から委嘱された、緑の保護と育成に関する区の施策に協力し、緑に関する知識と熱意を持って自主的な地域活動を積極的に推進していく区民のボランティアです。

緑化推進協力員会全体での活動、区内を4つのブロックで分け、それぞれの地域で行うブロック活動、地域における個人での活動など、緑化に関する様々な普及啓発や活動を行っています。

この「緑化推進協力員だより」では、緑化推進協力員の日頃の活動や、緑化について感じたこと・考えたことなどをまとめたもので、年に2回発行しています。

目 次

	題 名	ブロック	氏 名 ペンネーム	ページ
1	活動記録（前期）	第1ブロック		1
2		第2ブロック		3
3		第3ブロック		4
4		第4ブロック		5
5	毎日が緑と共に生きて、暮らして、楽しんで	第1ブロック	佐々木 定治	6
6	細葉泰山木（ホソバタイサンボク）	第1ブロック	島村 孝昌	8
7	ゴーヤー作りに挑戦	第1ブロック	庄司 典昭	10
8	お花サポーターに応募して	第1ブロック	中村 弘子	11
9	ナンジャモンジャの木	第1ブロック	引地 詔子	12
10	縁起の良いカラスウリ	第2ブロック	五十嵐 美鈴	13
11	祖父が積んだ石垣	第2ブロック	近藤 文子	15
12	茄子に感謝	第2ブロック	鈴木 伸	17
13	暑さに負けず元気な琉球朝顔			
14	バランスとタイミング	第2ブロック	鉄 線 蓮 (ペンネーム)	18
15	花の名前を覚え始めて	第2ブロック	半田 建二	19
16	思いは同じ	第2ブロック	宮田 喜美代	21
17	雑草雑感	第3ブロック	下井 守	22
18	緑化に関する考えや感想	第3ブロック	杉本 明	24
19	振り返ればあっという間	第4ブロック	細井 操	25
20	花と共に			27
21	編集後記		編 集 委 員	31



第1ブロック活動記録（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月10日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
15日	花壇活動	かつしか花いっぱい協議会	定期会議
19日	役員会	緑化推進協力員役員会議	年間計画
23日	新宿プレイパーク	花壇活動	ジンジャー苗植え付け
27日	ブロック会議	緑化推進協力員第一ブロック会	年間会議
5月10日	花壇管理、花壇整備	区役所花壇整理	花壇整備
11日	新宿プレイパーク	花壇活動	アガパンサス植え付け
12日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
14日	原田小学校	花壇活動	北側花壇肥料
15日	原田小学校	花壇活動	ペチュニア、ジニア等植栽
17日	夏秋花の植込み	区役所花壇植え付け	ペチュニア苗等を植える
21日	ゴーヤの栽培方法	緑のカーテン講習会	実演
30日	花壇活動	かつしか花いっぱい協議会	定期会議
30日	新宿プレイパーク	花壇活動	チューリップ球根掘り起こし
31日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
6月9日	金町駅南口花壇	金町駅南口花壇管理	花の撤去、肥料入れ
10日	水元中央公園花壇	水元中央公園花壇管理	花壇管理
11日	新柴又駅前	花壇活動	花苗植え付け
11日	フロリズ花壇	花壇活動	花苗植え付け
12日	展示参加	かつしか環境緑化フェア	ヒバチップ配布 自然観察フォト提供
13日	金町駅南口花壇	金町駅南口花壇管理	ペントス、ジニア等植え付け
25日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
27日	新宿プレイパーク	花壇活動	冬の花処分
29日	清水農園	夏の園芸教室	プランターの底面給水
7月2日	新宿プレイパーク	花壇活動	紅かなめの剪定
15日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして

月日	会場	会議名・事業名	内容
18日	清水農園	飯塚子供会	ブルーベリー摘み取り
23日	リリオホール	葛飾市民大学参加	メッキ
25日	清水農園	飯塚子供会	プランターの底面給水
27日	花壇活動	かつしか花いっぱい協議会	定期会議
8月10月		花壇コンクール表彰式	審査員として参加
15日		イネに関する調査	
25日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
27日	新宿プレイパーク	花壇活動	皇帝ダリア剪定
28日	葛飾区役所	サロン ド 花いち	参加
9月4日	葛飾区役所	夏花花壇講習会	参加
5日	新宿プレイパーク	花壇活動	クンシランの苗植え付け
9日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
16日	水元2～3丁目	自然環境調査	自然環境レポーターとして
22日	私立保育園	私立保育園樹木剪定	剪定実施
27日	区内中学校	緑化に関する学習	理科学習

第2ブロック活動記録（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月17日	白鳥花壇	花壇植付準備 除草、培養土・肥料 搬入	チューリップ片付け、土耕 転（腐葉土・培養土）、オル トラン
5月 2日	緑と花の憩いガーデン	新任（2名） 花摘み、除草、施水 指導	見本園内の花柄摘み、水や り等勉強会
5日	白鳥花壇	草花植付	ペチュニア、コリウス植付
6月 4日	白鳥花壇	清掃	前日のドシャブリの雨の後 片付け
7日	白鳥花壇	草花植付	種まきして発芽したひまわ りを移植、植付、施肥
13日	白鳥花壇	草花植付（公園課よ り配布）	ペチュニア・ポーチュラカ → さし芽でふやした苗
21日	白鳥花壇	草花植付	ペチュニア（さし芽した苗） コスモス（昨年の種を種か ら） ポーチュラカ（花風船の会 の伸びた芽）
7月 4日	白鳥花壇	除草、清掃、施水他	
18日	白鳥花壇	除草、清掃、施水他	ひまわり（ピンセント）、ネ メシア植付
27日	白鳥花壇	清掃	強風後の清掃 枝折れ、草花手入
8月 6日	白鳥花壇	除草、清掃、施水	除草及び水やり
13日	白鳥花壇	除草、清掃、施水	除草及び水やり
24日	白鳥花壇	除草、清掃、施水	除草及び水やり
9月10日	白鳥花壇	除草、清掃、施水	除草及び水やり

※毎週月曜日、半田協力員が清掃・除草・施水 etc 活動

※施水は毎週土曜、又は日曜の早朝か夕方実施

第3ブロック活動記録（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月 9日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 5 名
19日	エコライフプラザ	委嘱状伝達式・総会	参加者 14 名
23日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 2 名
28日	東四つ木地区センター	ブロック会議	参加者 15 名参加
5月14日	渋江公園花壇		雨で中止
22日	青戸地区センター	緑のカーテン講習会	参加者 16 名；講師＋補助員 2 名
25日	渋江公園花壇	整地	参加者 10 名
11日	渋江公園花壇	花苗植えつけ	参加者 8 名
6月22日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 2 名
7月 9日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 8 名
27日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 5 名
8月13日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 3 名
24日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 4 名
9月 6日	エコライフプラザ	ブロック会議	参加者 12 名
10日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 7 名
28日	渋江公園花壇	雑草とり、花柄つみ、水撒	参加者 6 名

※第2土曜日と第4水曜日が渋江公園花壇での定期的な作業になっている。その間も、天候に応じて適宜水撒きなどをした。

※今期植付けた花苗は、ペチュニア（白、ピンク）、ポーチュラカ（オスカーレッド）、ルミナス（レンジャー）ピンク及び黄色、ユーフォルビア（ダイヤモンドスノー）、クレメオ（セニョリータ）、サンビリーバブル。このうち、ペチュニアピンク、サンビリーバブルは非常によく育ったが、ルミナスの根付きが悪かった。こぼれ種から育ったクレメオが立派だった。

※岸協力員が種から育てた千日紅が丈夫に育っている。

※屋上緑化見本園花壇の維持管理は、3班に分かれ、各班月1回分担している。

第4ブロック活動記録（令和4年4月1日から令和4年9月30日まで）

月日	会場	会議名・事業名	内容
4月13日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
19日	男女平等推進センター	緑化総会	委嘱式等
28日	高砂地区センター	第4ブロック会議	令和4年度活動計画など
5月11日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
22日	高砂地区センター	緑のカーテン講習会	ゴーヤの栽培方法実演
25日	細田グリーンバンク	花壇植替え作業	花壇手入れ
6月 8日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
12日	テクノプラザ	緑化フェア	苗木配布等
24日	新小岩間栗公園	花壇植替え	花壇手入れ
30日	新小岩間栗公園	花壇手入れ	花壇手入れ
7月13日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ（3名）
20日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ（3名）
8月10日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
9月 6日	新小岩地区センター	第4ブロック会議	令和4年度後期のブロック活動について
14日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ

*新小岩間栗公園では、ブロック員1名が随時活動。

葛飾区緑化推進協力員だより 46号に寄せる

第1ブロック

佐々木 定治

毎日が緑と共に生きて、暮らして、楽しんで



8月には、つる性植物のお世話をしました。



たんぼの管理とサルスベリ・フヨウのお世話も

花レポーターの取材活動



私の毎日の暮らしは、緑と共にあります。朝の自宅の庭の季節変化を見る事・午前中の12時までの近隣の保育園の農園管理と、環境カウンセラー的業務をする事・そして午後は、「自然環境レポーター」と「花いっぱいレポーター」活動をする事です。

緑は人の心を育て、人の心を癒してくれます。人として生きていく時に、緑の一切ない暮らししかできないとしたら、人間らしい暮らしは望めないのだろーと思ひます。人間らしい暮らしとは、季節の変化の中にある、偉大なる地球の営みを享受できることです。それはとりもなおさず緑と共に生きて、緑を楽しむことに他なりません。そして私は、緑を育てるために、協力員としての活動を、喜んで継続していきます。

花壇管理講習会に参加しました！



花壇管理講習会の午前9時30分～10時30分の会に参加しました。



葛飾緑化推進協力員のガーデンプロジェクト12の花壇報告



報告された花壇の一モデル

令和4年9月4日(日) ①9時30分～10時30分 ②10時45分～11時45分に区役所2階の「緑と花のいこいガーデン」を会場として、「花壇管理講習会」が開催されました。講師は渡辺 均教授(千葉大学 環境健康フィールド科学センター)です。また発表は、緑化推進協力員有志による「ガーデンプロジェクト12」の皆さんです。花壇のテーマは①木かげの下で ②生命をつなぐバトン～平和への祈り～ ③つきづきの彩……です。さらに毎回人気の「土壌調査実施報告」も報告され、勿論全ての提案報告に対して、渡辺教授からの丁寧で分かりやすい講評がありました。緑化推進協力員としての花壇講習会は、協力員としての技術や資質向上の為の、重要な研修会でもあります。

細葉泰山木（ホソバタイサンボク）

1ブロック 島村 孝昌

「葛飾区緑化推進協力員だより」第45号に、「駐車場にする為に残念ながら今は我家の庭に無い、白い大輪と強い高貴な香りを放つ泰山木が忘れられず、どこかでその木を見かけたら教えてほしい」と投稿しました。

6月2日、第2ブロックの清水雅子さんより泰山木を見た、思い掛けない有り難い電話が掛かってきました。

5日の日にその場所の東堀切2丁目の都営アパートへ自転車で馳せ参じました。

あった！あったぞ。建物の前の植込みの中にあの懐かしい白い花が見えました。正面の広い入口の左右に2本と1本（2本ずつ植えたのだろうが1本は枯れてしまったのだろう）があり、横の細い入口には左右1本ずつで、5本の泰山木です。

我家の庭の木よりも花も葉も小さく、若木のせいかと思いながら、木に括られている標示板を読むと「細葉泰山木」と書いてありました。私は泰山木にも種類があることを知り、驚くと共になぜか嬉しくなりました。

この若木がこれから先どんどん大きくなり、花は我家の庭の木よりも小さいが、いつか5本の木の白花が沢山咲き、あの素晴らしい香りを周辺に撒き散らして、この近所の人達が私以上に感動と感嘆で喜んでいる姿が思い浮かび、あらためて「細葉泰山木」の標示板の木を見つめながら、頑張ってくれよ頼むぞと心の中で呟きました。そして凜として咲いている花を見て、私は元気をもらった気がしました。

私に知らせて下さった清水さんには、心より厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

泰山木・白い大きな花を咲かせるモクレン科



ゴーヤ作りに挑戦

1ブロック 庄司 典昭

今年の夏はゴーヤ作りに挑戦しようと思い立ち、緑化推進で頂いた種子とブロック員の方から頂いた苗の2種類を、培養土と赤玉土を入れた大き目のプランターに植えました。

種子は尖った部分を1mmほどカットして2～3日水に浸して発芽したのは2粒。10日以上かかりました。成長も遅く7月末頃から、やっと細いツルを伸ばしはじめました。

苗の方は7月上旬には太いツルをネットにからめ上へ上へと伸びていきました。この時期に追肥として、錠剤タイプのエードボール Caを入れてみました。8月頃からどちらにも実はつき始めました。全体的に小ぶりのゴーヤばかりです。7月頃の雹とその後の高温続きのためではないかと思っていますが、ゴーヤチャンプル、おひたし等に料理して美味しく食べています。

来年は土作り、肥料等、基本を学び直し大きなゴーヤ作りに再挑戦したいと思います。又、水元公園での花壇の草取り、バラの摘芯、苗作り等これからも続けて行きます。



お花サポーターに応募して

1ブロック 中村 弘子

私は、JR 金町駅前に住んでいます。

4年前から UR の花サポーターとして活動しています。最初の2年間余り、花壇プロデューサーの木村さんの指導で、春と秋に植替をしながら、花壇作りを覚えしました。植替の時は、UR の人達、サポーター、住民の人達と大勢で作業するのです。2時間ばかりで花壇が出来上がると、達成感があります。

花壇の手入れは、楽しい作業です。きれいに咲いている花を、団地の人や広場に散歩に来る保育園児達が、嬉しそうに見ている。その姿に、私も喜びを感じます。

金町駅前は、北口も、南口も花がたくさん咲いています。どの花壇も手入れが良いので生き生きとしていて、花壇作りに携わっている方々の、ご苦勞を思います。何より花や木々の緑を見るとストレス解消、日々が楽しくなります。花の手入れは体が動く限り携わって行きたいと思う日々です。



ナンジャモンジャの木

1ブロック 引地 詔子



水元公園のグリーンプラザの近くに、5月初め見事な花の咲く大きな木があります。花は、小さな枝に円錐状の葉散花序で多くの白い花が咲きます。昔、水戸黄門様こと徳川光圀が時の将軍に「あの木は何という木か」とたずねられ、その返事に困り木の名前がわからず「何じょう物じゃーなんとゆうものか」と答えたと言う話から、それ以来そ

の地方の珍しい立派な木を「ナンジャモンジャの木」と言うようになったそうです。

現在全国でナンジャモンジャとよばれている木は22種類あるといわれています。

水元公園のナンジャモンジャの木は「ヒトツバタゴ」だそうです。

水元公園の樹木園にホルトノキ、ハルニレ、クスノキ、アブラチャン、タブノキ、クロガネモチ、バクチノキ、カツラ、ヤマエンジ、イヌシデ、イヌザクラ、ボダイジュなど、日本の各地で「ナンジャモンジャの木」とよばれている木が植えられています。私の知っている木も何本かあります。

明治神宮外苑のヒトツバタゴの木が有名だそうです。ぜひ5月初めに見に来てください。グリーンプラザに来て頂いたら私が案内します。



縁起の良いカラスウリ

2ブロック 五十嵐 美鈴

いつのまにか我が家の庭にカラスウリがつるを伸ばし、赤い実をつけた。鳥が種を運んで来たのだろうか？それとも土にまじっていたのだろうか？去年はつるが、どんどん伸びて庭の大きな木までからみはじめた。今年はずるが伸びる前に取ろうと思っていたが、多忙と暑さでめげてしまい、伸びほうだいにしていたら、庭が鬱蒼とし、カラスウリは赤い実をたくさんつけた。ラジオでカラスウリは縁起が良いと言っていた。種が大黒さまの持つ打ち出の小槌に似ていて、財布に入れておくとお金が増えるそうである。種が取れたら夢をみんなに分けてあげようと思う！

<カラスウリ 烏瓜>

学名 *Trichosanthes cucumeroides*

分類 ウリ科カラスウリ属

草丈 つるの長さ 3～5 m

分布 本州（東北地方南部以南）～九州、中国

開花 8～10月 結実 10～12月



烏瓜の語源については、樹上にいつまでも赤い果実が残るのを、カラスの食べ残しと見立てたものであろう、という。その種子は光沢のある黒褐色で、カマキリの頭、または大黒天を想像させる形をしている。それで、昔はこの

種子を大黒さまと呼び、これを財布に入れておくとお金が増えると言い伝え
た。また、古くはこの種子を結び文に見立てて、この植物を玉章（タマズサ）
とも呼んだ。イモのように紡錘状に肥厚している根を、漢方にも用い、生薬
名を土瓜根（ドカコン）という。その澱粉を精製して、天瓜粉（天花粉）を
作る。

特徴 つる性多年草。葉と向かい合って出る巻きひげで、他物にからむ。葉は光
沢がなく、ひどくざらつく。花は日没後しばらくして開き、日の出前にしぼ
む。花冠は5裂、裂片は糸状に細裂して、ふさのように垂れる。雌雄異株。

<参考文献>

「花図鑑 野草」（草土出版）

監修（神奈川県立生命の星地球博物館学芸員 高橋秀男）

平成10年3月26日第1刷発行

祖父が積んだ石垣

2ブロック 近藤 文子

コロナ禍ではあったが、友人が阿波踊りを観たいと言うので、墓参りも兼ねて四年ぶりに里帰りした。阿波踊りも縮小され、開設された3か所の棧敷以外は踊り手も人波もなく、ひっそりとしている。街中が花火を打ち上げた様な、地の底から沸く盆独特の賑わいはない。しかし、次から次へと入ってくる踊り連は、美しく力強く、また壮観である。笛や太鼓、三味線等の鳴り物の音が極暑の夜を彩り、さすが我が故郷「徳島」成り。余韻を残し、従姉の家で泊まった。

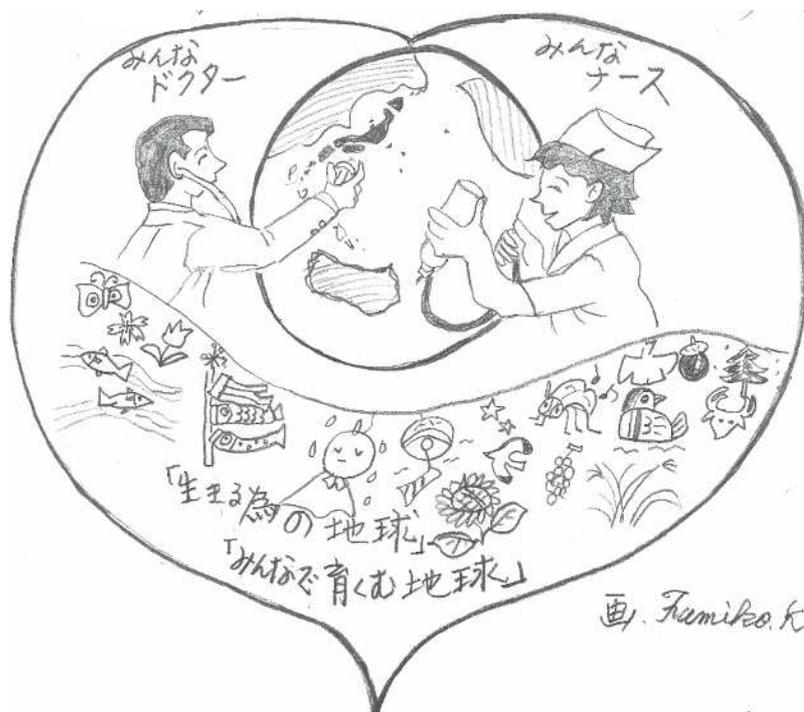
子どもの頃から姉妹の様に育ったが、一番年上でもあり祖々父母・祖父母等の系図を作成出来る位記憶している。その話の中で一番印象に残ったのが、母の父親が積んだという石垣で、現存しているという。姉が嫁いだ家で、色々な職人が石垣を積むが崩れてしまう。そこで祖父が積むことになったらしい。場所は、まさにマチュピチュのごとく険しい山の中。クネクネとした山道を車で登り、何十年と眺めてきた故郷の山に、こんな美しい眺めがあるのかとビックリした。まるで城の石垣の様な、忍者返しの様な石垣は、苔むして100年、崩れる事なく美しい風格を保っている。生まれて初めて祖父の温もりを感じ、振り返ってみる山脈につくづく「故郷」がある喜びを感じた。

石垣の上に建つ家は、「柱」や「箱段」「座敷」がピッカピッカで、何時行っても家の中の掃除が行き届いていたと母から聞いたことがある。その家も無人となり、

遠く家族で賑わったであろう面影はない。集落が点々と存在していたその村も、市内に住む家族が時々来て畑を耕している。収穫を期待して作付けした野菜・果実も、ことごとく猪、鹿、猿に食い荒らされてしまう。また保水性のある落葉樹も、杉、桧に覆われ姿を消しつつある。細いパイプを巡らし生活用水を確保しているが、極暑、猛暑続きで飲み水さえ期待できない状態だと知る。

こんなにも自然に囲まれた故郷に、もう一步踏み入れた時、人間のしでかした急速な温暖化を理解しきれないでいる事に自分地団駄を踏んでいる。遥か下に望む鮎喰川（あくいがわ）も、日本三大急流の吉野川も草原に化した様で、ほんのわずかの水の流れがある。

今回の里帰りは、コロナ感染を心配しての旅であったが、今だ崩れる事なく山河を見守っている祖父の石垣に巡り会えた事。そして今だ変わらず雄大な静寂を保ち、美しく、深く、優しいと思っていた故郷が病んでいる事に驚きと悲しみを感じる。私達は、これから生きていくすべての命に、自責の念を抱き、何を成すべきか、今すぐの一步を。



茄子に感謝

2ブロック 鈴木 伸

6月12日環境・緑化フェアで頂いた茄子の苗木を、少し大き目の鉢に植えました。最初は枯れないで育ってくれるか少々心配でした。お陰様で立派な実をつけてくれ、うれしくなりました。毎日、茄子の生育状況が楽しみになり、



水やりも頑張りました。食べ頃となりましたので、煮物として家族で頂きました。とても美味しかったです。茄子さん、ありがとうという気持ちで一杯です。

暑さに負けず元気な琉球朝顔

2ブロック 鈴木 伸



数年前、鉢植で我が家に来た琉球朝顔です。

西日の当る窓の近くに、さざんか、つばきが植えてありますが、この植物は高い所が好きで、さざんかやつばきの上の方まで伸びています。

花は毎日20個位咲き、ちょっと離れて見るか2階のベランダから見るときれいです。涼しくなったら剪定しようと思います。暑さに負けず良く頑張っている姿に頭が下がります。本当に植物から勉強になる事を教えて貰いました。



バランスとタイミング

2ブロック 鉄線蓮

バランスとタイミング、そして風通し良くする事。これが、千葉大学の渡辺均先生の初めての講義の教えです。そして草花を求める時は、なるべく近くで生産された物を育てると良い、本当にそうだ！と、最近強く実感しています。

我が家の前は、小学校の通学路。引っ越してきた時、毎朝、自宅前に投げ捨てられた吸殻を100本位、掃除していました。

見るのも嫌だが、そこを通る子供達に、恥ずかしい大人の振る舞いを見せるのが嫌で、たまらなかった。気持ち良く学校に送り出したい、そういう思いで掃除をしていました。今では、週に1、2回の掃除で、だいたい綺麗になっています。

草花を育てるのが好きだったのもあって、玄関前を飾って、子供達を迎える事、それが今でも、私の緑化推進の原動力となっています。子供は親の後姿を見て育つ。私も言う事を聞かず、親を困らせていたものです。

母の生き物を慈しみ、愛でる後姿を見て育った私です。だから緑化推進の活動が、あって居るのだと感じられます。

今は「草花に守られ、育てられて居ると」そう感じられる自分が居ます。



花の名前を覚え始めて

2ブロック 半田 建二

緑化推進協力員になる前は、花の説明を受けても一時は覚えているのですが、一晩たつと、『アレ？名前が思い出せない？』と。メモを取ることをまったくしていませんでしたので、覚えることは出来なかったのだと改めて反省をしております。作業中は多くの花の名前が飛びかい、「あれ？何だったっけ？」。これではダメ会員になってしまうので、名前を覚えるためにひたすら『メモ』をとり、帰宅してからは教えて頂いた花の名前を、PC検索■記録■基本情報と一緒に台帳作成記載。

白鳥4丁目公園、花盛りには写真を撮りに入園される方も増え、『キレイデスネ!! 何という花なのですか？』。最近は一通り説明出来るようになってきましたが、突然声が出なくなる時もあり、来場されると緊張感が走りますので、出来る限り花に名札を付けるようにしているのが最近です。

調べてゆく内に日本固有種に出会う事が少ないのに気づきました。



弥生時代に中国から渡来した『ハナモモ』



2022.04.02 『白鳥4丁目公園にて』 2022.05.03



『白鳥4丁目公園にて』

2022.04.29

日本固有種

『シラン』（紫蘭）

思いは同じ

2ブロック 宮田 喜美代

最近の出来事です。吊るし鉢の花がほしくなりホームセンターの店先での花散策をしていました。目的の花は五色の松葉菊です。あら！少し値段が高いな～と思って、ながめていた所、割腹のいい年配の男性の方から声を掛けられました。松葉菊、可愛いですよね～僕も見ていたのですよ！値段高いですよね～。同じ思いでした。私は、1日考えますと話しました。僕はセンターの近くに住んでいまして、良く花を見に来るのだと、僕も1日考えますが、やっぱりいいな～と思う花は買ってしまい、奥様にしかられたりしてます！と二人で笑ってしまいました。一晩考えましたが頭から離れず、自転車はホームセンターに向かっていた。結局は吊るし鉢の松葉菊とアメリカンブルー、二つ買ってしまい帰り道はルンルンでした。

私にとって植物はなくてはならない物で、他の物を節約しても花は身近に置きたい思いです。



雑草雑感

3ブロック 下井 守

花壇の管理をしていて、水やりと雑草刈りは頭の痛い問題である。その植物にとって環境の良い場所に機嫌よく根付いているにもかかわらず、目的の植物でないという理由で排除されるのは、植物の立場からするとなんともやりきれないだろうな、と思いながら、目をつむって抜き取らざるを得ない。雑草を除く一番の理由は肥料などを雑草に取られるということだと思うが、雨が少なく、土が乾燥状態になっていても、イネ科の雑草が密生しているところは、他よりも土が湿っていることをよく見る。保水のためには少しくらいの雑草を残しておいた方が良いのではないかともしっかりしている。

今年の渋谷公園の花壇では、雑草刈りから逃れたクレメオがペチュニアの間で非常に立派に育ち、花を咲かせた。明らかにこぼれダネから育ったものだが、別の場所に春に植え付けたクレメオセニョリータよりずっと立派に育って種も実らせている。ここ数年クレメオは育てていないので、随分以前の種から育ったのかもしれない。新しい種が数年後に次の世代を残すのかな、と楽しみである。

今年は、公園花壇の他に、地域の神社の草刈りをしている。ずっと、神社の草刈りをしておられた町会役員が病に倒れたため、どうするかという問題になった。除草剤を撒けばいいという乱暴な意見も出たが、それに反対するために、協社のあたりの雑草とりを自分が引き受けることにした。広い面積で、刈っても、刈っても、

刈りきれないほどの雑草であるが、刈っているうちに、かなりの数のスミレの株があることに気づいた。いずれも小型のスミレで、夏の時期では花がついていないので、種類までは分からないが、数種類のスミレがあることが分かった。スミレも、雑草といえば雑草であるが、春の花が楽しみなので、スミレを残すことを町会で承認していただき、残りの草を選択的にせつせと刈っている。

スミレは昔から大好きな花で、丹沢の、今はダムの下になってしまった宮ヶ瀬村に昆虫採集に通っていた頃は、エイザンスミレの株を持ち帰って、家でめでていたこともある。

神社のスミレはなぜがコンクリートの縁に沿って多く育っている様子がある（写真1）。なぜなのか疑問に思っている。

他の雑草がなくなり、地面が多く出てくると、ツマグロヒョウモンというきれいな蝶の幼虫の存在に気づいた。この蝶はスミレ類を食草とするもので、以前にパンジーの葉に隠れているのを見たことがあったが、今回はスミレの株から別の株に移動するところだったようである（写真2）。スミレを育てる身からすると害虫ということになるが、そのまま見逃してやることにした。アシナガバチなども飛んでいるので、見つからずに無事成虫になることを祈っている。

（写真1）



（写真2）



緑化に関する考えや感想

3ブロック 杉本 明

今年度から緑化推進協力員になり、6カ月が過ぎました。

コロナウイルス感染拡大の中で、家庭菜園や季節の花を楽しんで花を綺麗に咲かせています。家の庭で、3月チューリップ・パンジー、5月金魚草・マリーゴールド・冬アジサイ、6月サルスベリの花が綺麗に咲いていました。

特に冬アジサイは通る人達が「この花は何の花ですか？」と聞かれて、花の魅力が分かってもらい嬉しかったです。

少しですが、季節のインゲン、トマト、ゴーヤ等、家庭菜園も楽しんでいます。

これからは、花壇等に頑張っていきたいと思います。

花は写真を撮り、写真を添付しました。

花の植え替えや、土にいろんな肥料を混ぜたりして楽しんでいます。



振り返ればあつという間

4ブロック 細井 操

2016年(平成28年)にボランティアとして加入し、今日までに至っております。

加入以前に居住地区の中庭に小さなスペースを借りて、2013年7月から仲間と一緒に手探り状態から園芸活動を始めたのですが、いざ始めてみるといろいろな花壇づくりの問題点に直面。もっとガーデニングについての基本的知識を身につけなければと悩んでいた頃、緑化推進協力員への誘いの声があり、始めたのが出発点でした。

いざ始めてみるとたくさん学ぶことがあり、時に各種の講習会へも参加したり、またいろいろな教材を読んだりして知識を高めていくうちに、当初の園芸店から苗を購入して栽培するだけでは物足りず、2017年3月には緑化推進協力員で知り合った園芸活動にお詳しい他ブロックの先輩をお招きし「種まきから始める花壇苗栽培」講習会を開催。



さらに続けて、区主催の「ハーブティー教室」に参加させて頂いたりして、花の多様性について知ることが出来、その成果を自治会で共有させて頂いていただいております。

第 4 ブロックでのメインな活動としては細田グリーンバンクでの定例活動です。

新小岩地区から目的地まで自転車で約 30 分。いつまでも年齢を感じさせないブロック長の後を必死に追いかけてながら、目的地へと。特に後半途中にあります心臓やぶり橋の急勾配越えはきつく、夏は汗びっしょり。それでも目的地に到着し、メンバー皆さんの元気な姿を拝見すると、ホッとして作業に参加することが出来ます。



中腰での作業は腰への負担もありつらいですが、お互いの健康を気遣いながらの日常会話、そして情報交換。作業途中には、近くの幼稚園児や、ご近所の皆さんからの声掛けもあったりして、カづけられています。



一方、区役所屋上緑化見本園での「ガーデンプロジェクト 12」の活動にも、微力ながら参加させていただいております。採取した土壌の化学的分析、データーを元にしたの土壌改良、顕微鏡による害虫分析。あまりのレベルの高さ

と専門用語に頭がパニック。園芸への基本的な知識、デザインについての意見交換等々挙げれば数え切れません。

そして、よりアカデミックな角度からの千葉大渡辺教授の講習会は毎回、貴重な体験として残っております。

楽しかった思い出の中で特に記憶しているのが、2017 年 10 月下旬、被災地塙

町への一泊研修バス旅行。染色現場、ダリア園訪問。夕食後、有志が部屋に集まり、夜の更けるまでの人生談義。

葛飾区の2016年9月に発足したウェブサイト「かつしか花いっぱいのみちづくり」には活動団体の報告がたくさん紹介されており、毎回楽しく拝見させてもらい、明日への励みと繋がっております。

最後に諸先輩方々、仲間達への感謝！何らの知識もなく始め、まだまだ勉強不足とはいえ、少しでもこうしてボランティア活動に参加させていただき感謝しております。

「花いっぱい！ あなたも私もしあわせいっぱい！」

花と共に

4ブロック 細井 操

2013年マスコミ社会面にて一人暮らしの高齢者の孤独死、孤立死、無縁仏等の問題が大きく取り上げられ、当団地でも対応策を迫られている中で、“花壇づくりでもしてみたら！？”との意見が自治会定例会にて提出されたのが花壇活動を始めるきっかけでした。

それからというもの、まずは花を植えるには土地確保問題についてUR側との交渉から始め、管理問題、費用負担問題と話し合いを重ね、そしてご協力を頂き、当団地中庭に小さな花壇がその年の夏の終わりに完成しました。

始めた当初は誰も専門知識は持ち合わせない全くの素人集団。兎に角、高齢者を部屋から一歩でも外に出て来てもらい花壇周りで、井戸端会議のように人と人との繋がりが出来ればと活動のスタート。

まずは、メンバー有志が近くの園芸店から店頭並んでいる苗を購入し、2013年9月に花壇に定植。何も無い地面の上に大勢で作業し、終了時に並んだ花を眺めながら一同喜びを分かち合いました。

それからというもの、植えた時が一番きれいで、直ぐに枯れたり、水を多くやり過ぎて枯れさせてしまったり、害虫問題に悩まされたりとの連続でした。

なかなか思い通りに進まず、2・3年続けて中途挫折と心配しましたが、始めて行くうちに「花への愛情」が皆さんの中に徐々に芽生えて来ました。

初めて間もない頃の2013年11月「高齢者見守り活動について発表会」にて、他の団体と一緒に社会福祉協議会主催の地域での活動紹介の中で取り上げられ、新小岩地区センターにてたくさん関係者の前で発表機会を与えられました。

初めての活動紹介の機会を与えられ、メンバーのモチベーションも見る見るうちに上がり、より真剣に取り組まなければと葛飾区主催の講習会を始め、その他の講習会にも積極的に参加。さらにいろんな文献や花に関する団体のHPを勉強したりしてスキルアップ。その一方、2016年緑化推進協力員へとボランティア加入。区役所屋上緑化見本園でのコンテナ花壇の作り方教室にもメンバーと一緒に参加したりして、たくさんの知識を学ぶことが出来ました。

折角、協力し合って作り上げた作品をただ植えているだけではもったいなく、「花

壇コンクール」にも、自分たちのレベルアップのために応募チャレンジ。

2015年には第1回「かつしか花いっぱいの花壇コンクール」に応募。翌年には「会長賞」を受賞しました。

また同年 UR「共同花壇コンクール」にも応募。そして、翌年2016年には「特別作品賞」を受賞。2017年には全国の応募団体の中で「最優秀作品賞」。2018年「優秀作品賞」と続けて最高位を受賞。そして、2019年には「殿堂入り賞」を獲得。

「東京オリンピック・パラリンピック 2020」開催が決定後、何か協力して応援できることはないかと模索していた頃に「TOKYO2020 参画プログラム」というプロジェクトを知り、行政や企業のスポンサーとは別に、ボランティア団体として「花いっぱいプロジェクト」と称して応募し、決定。2018年8月から活動に参画し、2021年大会直前まで気分醸成を高めようと邁進。

最初に考えたのはレンガでの五輪シンボルマーク作り。五輪の円については近くのスーパーから空段ボールを頂き、その上に新聞紙で作った円の型紙を上から貼り、ハサミとカッターナイフにて円を作成。円は初めにレンガの長さで円周率を計り無駄のないように直径を計算。花は五輪マークの色に合わせてブルー、イエロー、ブラック、グリーン、レッドとそれぞれ花苗を選択。生憎、緑色の花は無くハーブを選択。ハーブは後にミントティー教室やモフィートカクテルを作ったりして、自治会の中で楽しませて頂きました。

2020年には「TOKYO2020」看板づくりに着手。DIY ショップに何度も通い模

索。どういうものが手軽でインパクトがあり安価で簡単かと考え、ゴミ置き場に捨てられている廃材を利用。ノコギリで切った板を 100 円ショップで購入した絵の具にてペイント。次に「TOKYO2020」の文字づくりは、廃材の発砲スチロールを利用。コピー用紙の上に描いたアルファベットと数字を段ボールに貼り、鉛筆で線をなぞらせ、DIY で購入した発泡スチロールカッターにて裁断。最初はうまく切れなくても 2・3 度失敗すれば使い方にも慣れ、出来栄えに皆さん満足。工作づくりの仕上げはやはり 100 円ショップの絵の具にてペイント。文字を乾燥させ、看板の上に等間隔に文字を接着し、完成。花をモチーフに計 6 回応援記事を投稿。

色々とチャレンジした「TOKYO2020」の楽しい思い出となりました。

その後、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・橋本聖子委員長より感謝状が 2021 年 11 月送られて来、皆さんと一緒に喜びを共有させていただきました。

いつしか活動と共に高齢化の問題にも直面しており、種蒔きから育てる花壇づくりから宿根草を増やし、少しでも負担を軽減できるようにと変えて行かなければと進行中です。

やればやる程難しく頂点がありません。ここまで続けて来られたのも緑化推進協力員やいろ

んな花壇仲間に支えられたからであり、繋がりを大切にこれからも活動を続けていきたいと思っております。





編集後記

緑は人間の暮らしと共にあります。それは平和へのシンボルとなり、人として心豊かに暮らしていけるバロメーターの素となります。

日常の暮らしの中で、緑との付き合いが一切なく、緑を遮断した暮らしを想像したこともないのですが、もしそのような暮らしを強いられたとしたら？

そこには、平和もなく勿論、心も荒廃状態になるでしょう。人が人として人間らしさを求めて暮らすとき、緑が大きなパワーをくれるはずです。

私は緑化推進協力員として、心を癒し明日への活力を育て、夢や希望を抱いて生きる力をくれる緑をこれからも大切にしていこうと考えています。

1ブロック 佐々木 定治

.....*.*.*.*.*.....

縁起の良いカラスウリの種がたくさん出来たので、友人や近所の方や「ふれあい銭湯」の参加者に差し上げた所、皆さんに喜んで頂きました。本当に大黒さまが持つ打ち出の小槌に似ていて、私も種を財布に入れてワクワク気分になりました。レースのような花は夕方咲くため、まだ見たことがありません。来年は絶対に見てみたいと思っています。皆さんも8月～10月頃、気に掛けて下さいね♥

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....*.*.*.*.*.....

近くの公園の落葉樹が日に日に変化している様子を、毎日散歩しながら、ワクワクする気持ちを楽しんでいる日々です。新芽から始まり、花、実、紅葉、落葉と1年を通して、私たちと共生しているなーと感じます。

今年は、数年前に買ったぶどうの苗木が、2房実りました。味わうこともできました。うれしかったです。買って来たときは、育つかしら、咲くかしら、実るかしらと思いながら世話を始めました。声をかけては、水を、肥料を、手入れをしてきたことが、環境に合ってきたのだと思いました。

3ブロック 江良 ヒデ子

.....*.*.*.*.*.....

世間では暗いニュースも聞かれ、社会は未だコロナ禍にあり注視していかなければならない状況ですが、それでも以前の様相から少しずつ変化してきました。

みなさんの所属する各ブロックの講習会や普段の活動も、変更を余儀なくされた面もたくさんあったと思います。しかしそこにあって、変わらず、ひたむきに活動を続ける緑化推進協力員のみなさんの姿勢には、いつも頭の下がる思いです。

今年度、私の所属している第4ブロックでは環境課の方々にも相談しながら新たな試みにも挑戦しています。各ブロックそれぞれ活動の内容は違いますが、みなさんの活動によって育てられた草花は、一様にそれぞれの場所で、きっと笑顔の花を咲かせてくれると思います。

たくさんの笑顔の花を咲かせられるとよいですね。

4ブロック 直井 勝